

令和3年（ワ）第 号 除名処分無効確認等請求事件
原告 池田利恵
被告 自由民主党 外2名

証拠説明書

令和3年9月29日

東京地方裁判所 御中

原告訴訟代理人

弁護士 南 出 喜 久 治

原告が提出した下記の甲号証について、以下のとおり証拠の説明を行ふ。

- 1 甲第1号証
文書の標題 離党勧告処分の決定について
作成者 自由民主党日野総支部支部長西野正人
作成年月日 令和3年3月2日
原本写の別 原本
立証趣旨 原告に対し、自由民主党日野総支部支部長西野正人名による離党勧告処分がなされ、令和3年3月10日までに離党届が提出されないときは同日付を以て除名とする旨の通知がなされた事実を示す文書の存在とその内容。
- 2 甲第2号証
文書の標題 決定書（処分）
作成者 自民党東京都支部連合会党紀委員会委員長林田武
作成年月日 令和3年4月26日
原本写の別 原本
立証趣旨 原告に対し、自民党東京都支部連合会党紀委員会委員長林田武名による除名処分の通知がなされた事実を示す文書の存在とその内容。
- 3 甲第3号証
文書の標題 112) 乳児はマスクを着用している母親の顔を認識しているか？
作成者 日本看護研究学会雑誌Vol.39
作成年月日 平成28年
原本写の別 写し
立証趣旨 乳児はマスクを着用している母親の顔を認識することが困難であ

り、育児に影響を及ぼすこと。

- 4 甲第4号証
文書の標題
作成者
作成年月日
原本写の別
立証趣旨
マスクの着用は、子どもの社会性発達を阻害する？
フィガロジャポン
令和3年3月5日
写し
マスクの着用が子どもの社会性発達を阻害することになる事実。
- 5 甲第5号証
文書の標題
作成者
作成年月日
原本写の別
立証趣旨
乳児における母親顔の認識
自然科学研究機構 生理学研究所 仲渡江美
令和2年
写し
乳児が母親であると認識するのは、刷り込みによつて母親の顔全体と表情、声等によつて他の者から区別するのであつて、マスクをして母親の顔全体が認識できないときき選好率が低下し、母親と認識し得ないことになる事実。
- 6 甲第6号証
文書の標題
作成者
作成年月日
原本写の別
立証趣旨
第1次提言 COVID-19ワクチン接種体制の構築へ向けた提言
自由民主党政務調査会
令和3年2月9日
写し
自由民主党政務調査会が政策決定されてみないまま令和3年2月9日に発表した「第1次提言 COVID-19ワクチン接種体制の構築へ向けた提言」と題する文書の存在とその内容。
- 7 甲第7号証
文書の標題
作成者
作成年月日
原本写の別
立証趣旨
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制の構築へ向けた提言について
自由民主党東京都支部連合会
令和3年2月10日
写し
自由民主党東京都支部連合会が甲6の提言を菅内閣総理大臣に申し入れたことについて三議連役員・理事・監事に報告した文書の存在とその内容。
- 8 甲第8号証
文書の標題
診断書

作成者 医療法人社団むすび会南平わだクリニック医師和田光司
作成年月日 令和3年3月5日
原本写の別
立証趣旨 被告らが原告に対して本件処分前に行つた違法行為によつて気分
障害の被害を受けたことを示す診断書の存在とその内容。

9 甲第9号証の1

文書の標題 通告書
作成者 原告代理人弁護士南出喜久治
作成年月日 令和3年6月14日
原本写の別
立証趣旨 原本
本件処分が無効であり、名誉回復措置、原状回復措置等を求める
ことなどを自民党に通告した文書の存在とその内容。

10 甲第9号証の2

文書の標題 郵便物等配達証明書
作成者 日本郵便株式会社銀座郵便局
作成年月日 令和3年6月15日
原本写の別
立証趣旨 原本
甲9の1が令和3年6月15日に自民党に送達されたことを示す証明書
の存在とその内容。